

Q₁

「夕暮れ時」や「たそがれ時」と呼ばれる薄暮時間帯※1に発生した交通死亡事故（2020～2023年の合計）を月別にみると、最も多いのは何月でしょう？

※ 1日の入り時刻の前後1時間。

①10月 ②11月 ③12月

Q₂

単路※2において歩行者が道路横断中に死亡した事故（2013～2023年の合計）では、歩行者の右側よりも左側から進行してくる車両と衝突することが多くなっています。夜間に限ると、その割合は何%でしょう？

※ 2 交差点、交差点付近、踏切等を除く道路形状。

①約60% ②約65% ③約70%

Q₃

2024年の歩行中（第1・第2当事者※3）の交通事故死者数を法令違反別にみると、最も多い違反は次のうちどれでしょう？

※ 3 第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。

第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

①信号無視 ②横断歩道外の横断 ③走行車両の直前後の横断



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736



Q

1

解答

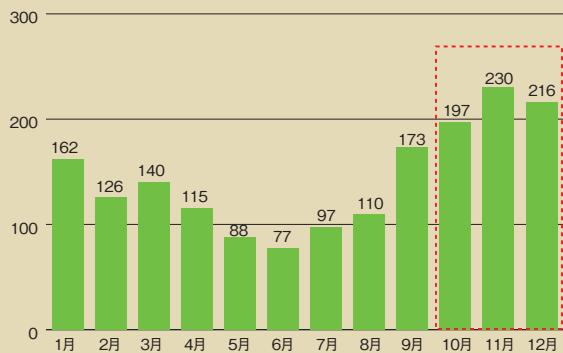
② 11月

<解説>

薄暮時間帯（日の入り前後1時間）に発生した交通事故件数を月別にみると、11月が最も多く、12月、10月と続く。さらに当事者別にみると、薄暮時間帯の死亡事故はクルマ対歩行者が約半数と最も多くなっている。

薄暮時間帯や夜間に歩く時は、白や黄色といった目立つ色の服装を着用したり、反射材を身につけてほしい。また、ドライバー・ライダーは周囲が薄暗くなつたと感じたら早めに前照灯（ヘッドライト）を点灯させ、周囲の状況に注意して慎重な運転を心がけてほしい。

●薄暮時間帯の月別・交通死亡事故件数(2019~2023年の合計)



出典：内閣府 政府広報オンライン

Q

2

解答

③約70%

<解説>

歩行者が単路を横断中に死亡した事故をみると、左側からの進行車両と衝突することが多くなっている。歩行者は左側からの進行車両の速度がわかりにくくこと、車両の運転者は右側から出てくる歩行者に気づきにくくことが、その要因と考えられる。

単路で左側からの進行車両と衝突した割合は昼間が53.7%なのに対し、夜間は71.2%である。夜間においては年齢層が高くなるとともに増加している。

歩行者は信号機のない場所を横断する場合、車両が近づいてきていないか必ず左右を確認してほしい。また、右側から来た車両が止まった場合でも、左側から車両が接近していないか確認することが必要である。

Q

3

解答

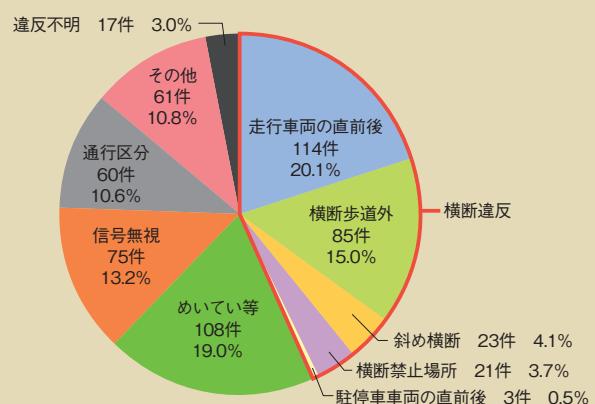
③走行車両の直前後の横断

<解説>

歩行中の交通事故死者数を違反別にみると、最も多い違反は「走行車両の直前後の横断」で「めいてい等（飲酒によるふらつき等）」「横断歩道外の横断」と続く。

道路交通法では、横断歩道を渡る時や信号等に従つて横断する時を除いて、歩行者は車両の直前または直後で横断してはならないと定められている。走行しているクルマの直後を横断すると、対向車からは、すれ違ったクルマの死角から歩行者が飛び出していくように見えるため危険である。右側からクルマが通り過ぎても、すぐに横断せず、左側からクルマやバイクなどが来ていないか確認してほしい。

●歩行中(第1・第2当事者)の法令違反別・年齢層別死者数(2024年・違反なし除く)



出典：警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736